

「協働の着眼点」を活用した パート・アルバイト向け食品衛生マニュアル
理解度テスト

名前 _____

※配点の記載がない限り1問1点です。

※解答時間は、30分です。

※問題文の最後に記載している数字は、「協働の着眼点」の項目番号です。間違えた問題
について、該当する「協働の着眼点」とマニュアルを確認してみましょう。

経営方針・コンプライアンス・法律編

問題1：次の文章のうち、自社の経営方針として正しい番号を1つ選んで○をつけて
下さい。

⇒1.-(1)-①、1.-(3)-③

(配点：6点)

1. 我々は、食品の製造・販売を行うことによってお客様の笑顔を創ることを誓います。
そのためには、食品の安全安心を確保するために、最大限の努力を行います。
2. わが社は、時代の変化と顧客の要望を先取りし、豊かな食生活を創造し、お客様と
地域社会の発展に貢献します。
3. わが社は、安全で安心かつ美味しい食品を世に送り出すことで、消費者に食べる喜
びを提供し、幸せ運びます。また、消費者のみならず、当社の従業員およびその
家族も幸せになる事を経営の目的とします。
4. 我々は、消費者の要望をキャッチして常に新しい商品を創造し、提供し続けます。
そして、消費者・生活者の立場に立ち、安全で安心な食品を提供して社会的責任を果
たす事を誓います。
- ⑤. 御社の経営方針をご記載下さい。

問題2：以下の文章はコンプライアンスについての文章です。カッコ内の最も適切な文言を○で囲って下さい。 ⇒2.-(1)-①,②

1. コンプライアンスとは、(企業の社会的責任 ・ 法令や社会規範の遵守) の事を言う。
2. 法令や社会規範を守らなければならないのは、(経営者 ・ 社員全員) である。
3. コンプライアンスを違反する事は、(たいした問題ではない ・ 罰金を払えば済む問題 ・ 会社の存続に関わる一大事)
4. 返品された商品をリパックする際に、上司の指示で賞味期限を1ヶ月延長してリパックした。この商品は常温保存が可能な商品のため、1ヶ月延長しても食べる事に関しては、何ら問題はない。
この事例はコンプライアンス違反 (ではない。 ・ である)

問題3：以下の文章は法律を説明した文章です。適切だと思われる法律に○印をつけて下さい。 ⇒2.-(2)-①

1. 農林物資の品質改善や取引の公正化を目的として制定され、飲食料品の品質や特別な生産方法で作られていることを保証する規格、およびその規格を満たすものに所定のマークを付ける事が出来る制度や原材料・原産地等の表示を義務づける法律。(JAS法 ・ 食品衛生法 ・ 製造物責任者法)
2. 食品の安全性の確保を行うために、国・地方公共団体・食品関連事業者・消費者のそれぞれの役割を定めた法律。国民の健康保護や国際的動向および国民の意見を反映した問題 (BSE(牛海綿状脳症)や残留農薬の問題など) に必要な措置を講じること定めた法律でもある。この法律の制定に伴い、食品のリスク評価 (人の健康に及ぼす影響を評価すること) 実施するための食品安全委員会を設置した。(食品衛生法 ・ 食品安全基本法 ・ 健康増進法)
3. 飲食物によっておこる衛生上の危害を防止し、国民の健康を保護する事を目的として制定した法律。食品添加物、食品の品質基準、加工食品の表示等について規定している。その他にも、飲食店の営業許可や食中毒に関する届出・調査・報告、乳幼児のおもちゃについても規制している。(食品衛生法 ・ JAS法 ・ 食品安全基本法)
4. 不当な表示や過大な景品類を規制し、公正な競争を確保する事により、消費者が適正に商品・サービスを選択できる環境を守る事を目的として制定された法律。具体的には、優良誤認や有利誤認等の不当表示を規制している。(公正競争規約 ・ 表示関連特別措置法 ・ 景品表示法)
5. 高齢化社会に対応した国民の健康増進策の基本を決め、国民保健の向上を図るために制定された法律。国民の健康や栄養調査の実施、生活習慣病の発生状況の把握、受動喫煙の防止、特別用途表示および栄養表示基準(特別保健用食品マーク等)、特別給食施設(老健施設・学校給食)における栄養管理等を定めた法律。(食品安全基本法 ・ 国民健康保険法 ・ 健康増進法)

食品衛生の基礎知識編

問題4：下記のA～Eの文章は、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）について、それぞれ説明した文章です。5つのSと文章が正しい組み合わせになるように、A～Eの文章の中から選択して下さい。

⇒3.-(2)-②

1. 整理（ C ）、 2. 整頓（ E ）、 3. 清掃（ D ）、
4. 清潔（ B ）、 5. しつけ（ A ）

語群

- A：4Sがきちんと守られるよう、習慣化されている事
B：整理、整頓、清掃が徹底され維持されている事
C：必要な物と不必要な物を分け、不必要な物を捨てる事
D：活動する場及びその周囲を掃除する事
E：必要な物を見つけやすく、利用しやすい状態にする事

問題5：5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の効果として正しいもの（5つ）に○印をつけて下さい。 ⇒3.-(2)-②

- （ ○ ） 業務の効率化 （ ） 食材の適切な取り扱い
（ ） 記録表の正確性 （ ○ ） 作業場の環境美化
（ ○ ） 従業員の意識改革 （ ） コミュニケーション活性化
（ ○ ） 労働安全の向上 （ ○ ） 不良品の減少

問題6：次の文章は食中毒を予防するために作業場で実行している取り組みについて述べた文章です。それぞれの文章に該当する食中毒予防の三原則を記入して下さい。 ⇒13.-(1)-①、13.-(2)-①

1. （ つけない ）：食品を取り扱う際は、手洗いを徹底し、清潔な器具で加工を行う。また、原材料、半製品、製品は作業台を分けて交差汚染をしないように配慮して作業する。
2. （ 増やさない ）：受け入れた原材料や加工中の半製品を速やかに、冷凍庫や冷蔵庫に保管する。また、盛り付け等を行う際は、迅速に作業を行い、半製品を常温に長時間置かないようにする。
3. （ やっつける ）：加熱調理を行う際は、食品の中心部まで加熱されている事を温度計で確認する。また、サラダ等の非加熱調理の場合、野菜を食品添加物として許可されている殺菌剤等に浸漬して殺菌する。

製造時における約束事

個人衛生編

問題7：個人衛生についての次の文章のうち、正しいものに○を誤っているものには×をつけて下さい。 ⇒5.-(4)-①,②,③

1. (×) 出勤したら体調が悪かったので、その旨をきちんと記録表に記入した。記録表に書いたので、上司に連絡をしないでそのまま作業を行った。
2. (×) 検便は前回の検査結果が問題なかったので、今回は提出しなかった。
3. (○) 指先に怪我をした。上司に報告した上で、上司の指示通り、指定の絆創膏を付けた後、手洗いをを行い、手袋を二重に着用し、商品に直接触れない箱詰め作業を行った。
4. (○) 作業着に着替える際は、指輪等の装飾品をすべて外した後、作業着に着替えた。着替えた後は、姿見(鏡)で毛髪がはみ出していないかのチェックをした。
5. (×) 当日欠員が出たため、上司に配置転換を告げられた。慣れない作業場で時計の位置が分からないので、腕時計をして入場した。
6. (×) 異なる作業場の正社員の作業着が汚れているのを発見したが、同じ作業場ではないため黙認した。

問題8：粘着ローラーによる毛髪除去の順番を正しく並べ替えて下さい。

⇒5.-(1)-④、5.-(4)-②

(配点：すべて正解して1点)

(5) → (1) → (2) → (7) → (6) → (3) → (4)

1. 肩口の周辺を行う。
2. 肩口から腕の先に向けて行う。
3. 腰から足の先に向けて行う。
4. シールを剥がして、所定の位置に戻す。
5. 頭の上をまんべんなく行う。
6. 背中中は鏡を見て、もしくは二人一組で行う。
7. 前面と脇の下を行う。

問題9：食品の製造を行う上で必要な手洗いのタイミングとして、適切なもの(6つ)を選んで○印を記入して下さい。 ⇒5.-(4)-②

- | | | |
|---------------|----------------------|---------|
| () 出勤時 | (○) 作業開始時 | () 退社時 |
| (○) 用便後 | (○) 食事休憩後 | () 帰宅時 |
| (○) 顔等に触れた後 | (○) 作業の切り替え時 | () 夕飯前 |
| () 作業着に着替える前 | (○) ゴミ捨て等の汚れ物を扱った時 | |

問題10：手洗いの手順を正しく並べ替えて下さい。(配点：すべて正解して1点)

⇒5.-(4)-②

水で十分汚れを洗い流す → (1) → (4) → (3) → (2)

1. 石鹸をつけてシワ、指の間、手の甲、爪の間、手首まで丁寧に洗う。
2. 消毒液(アルコール)をすりこみ、自然乾燥する。
3. ペーパータオルやジェットタオルで水気を取り除く。
4. 水で石鹸を洗い流す。

問題11：次の行動のうち、正しいものには○印、誤っているものには×印をつけて下さい。⇒5.-(1)-④、5.-(4)-③

1. (×) 記録表の担当だったので、作業場にシャープペンシルを持ち込んだ。
2. (×) マナーモードにして、私物の携帯電話を作業場に持ち込んだ。
3. (×) 喉が渴いたので、ラインの近くで持ってきたジュースを飲んだ。
4. (○) 休憩時間がきたので、喫煙所で煙草を吸った。
5. (○) トイレに行く時、エプロンをトイレ入口横のフックに掛けて入った。
6. (×) トイレのサンダルが全て使用されていたので、作業靴で入室した。

洗浄および清掃について

問題12：施設設備の洗浄や清掃に関して、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入して下さい。⇒5.-(1)-①、5.-(6)-②,③,④

1. (○) 洗浄や清掃方法は、器具や機械、床や壁等の施設・設備毎に定められた手順を守る。
2. (×) 分解すると機械が壊れやすくなるので、機械はそのまま洗浄する。
3. (×) 洗浄や清掃に用いる洗剤は、濃度が濃いほど汚れがよく落ちるので原液で使用する。
4. (×) 器具用の洗剤と施設用の洗剤は、どちらを使用しても汚れがよく落ちるので、施設の洗浄を行う際はどちらを使っても良い。
5. (×) 洗浄時の泡が残っていれば殺菌効果が得られるので、すすぎはある程度で良い。
6. (○) 洗浄後の器具に付着した水気を取り除き、アルコールや次亜塩素酸等の殺菌剤により殺菌を行った。
7. (○) 洗浄後の器具を部屋の隅にある所定の位置に保管した。
8. (×) 床の水気は、湿度を確保するために残しておいた。
9. (○) 食材残渣とダンボールを分けて、ゴミの集積場に持って行った。
10. (×) 器具は定位置管理しなければならないが、清掃用具や洗浄用具は定位置管理しなくてもよい。

作業前、作業中の注意事項編

問題13：次の文章のうち、正しいものには○印、誤っているものには×印をつけて下さい。 ⇒3.-(3)-①,②、4.-(3)-①、5.-(1)-③,④,⑤、5.-(3)-①、5.-(4)-②、5.-(6)-①,④

1. (×) 作業場は機械等の発する熱により暑くなる事が多いので、窓や扉は常に開放しておく方が良い。
2. (×) 社内でのコミュニケーションを活発にする事は重要なので、作業中は作業に関係のない話も積極的に言う方が良い。
3. (○) 作業場内では、怪我をしないように、走ったりふざけたりしない。
4. (×) 半製品を効率よく運搬するために、機械の隙間や下を通った。
5. (×) 日々の作業は大きく変わることはないので、当日の作業内容の確認はしなくても良い。
6. (○) 作業前に作業に必要な道具をそろえる。
7. (×) 機械と器具は作業後に点検するので、作業前は点検を行わなくても良い。
8. (○) 上司の話は良く聞き、何かあった時は上司に報告する。
9. (×) コスト削減を厳しく言われているので、手袋は少し破れたくらいで交換しなくても良い。
10. (×) 加熱・冷却の基準は目安なので、確認しなくて良い。
11. (○) 冷蔵庫や冷凍庫の温度は、決められた頻度で測定する。
12. (×) 同一ラインでいろいろなアイテムを製造する際は、効率よく仕事を行うために、連続で作業を行う方が良い。
13. (○) 機械の操作手順は、マニュアルの通りに取り扱う。
14. (×) 隣の作業者が手順と異なる方法で作業を行っていたが、自分が怒られるかもしれないので、注意しなかった。

食品の取り扱い編

問題14：食品の取り扱いについて、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入して下さい。 ⇒4.-(2)-②、5.-(1)-⑤、5.-(3)-①,③

1. (×) 原材料を受け入れる時は、期限が近い物や傷んでいる物でも、すぐ使えば問題ないので、受け入れて良い。
2. (×) 原材料と半製品を運搬する際に、同じ容器に入れて効率よく運搬した。
3. (×) 冷凍品に解凍方法の表記がなかったので、早く解凍するために、常温に置いた。
4. (×) 半製品を冷ますために、長時間常温に置いた。
5. (○) 原材料や半製品に汚れが付かないように、ゴミ箱やシンクから遠ざけて保管した。

6. () 原材料のダンボール箱を床に直接置いたが、原材料はビニール袋の中に入っているので問題ない。
7. () 半製品がすぐ使えるように、半製品の入ったボールやバットを冷蔵庫に覆いをしないで保管した。
8. () 調味料は比較的期限が長いので、入荷日を気にしないで使用しても良い。
9. () 日付管理を徹底するために、開封した原材料や半製品を入れたバットに開封日や加工日を記入した。

作業終了時の注意事項

問題15：作業後の行動について、正しいものに○印、誤っている×印を記入して下さい。 ⇒3.-(3)-①、5.-(6)-④

1. () 製造機械はなかなか壊れないので、点検しなくても良い。
2. () 器具の破損状況を確認して、上司に報告した。
3. () 清掃や洗浄が終わったが、時間がないのでチェック表は明日記入する事にした。
4. () 作業場を退出する際に、機械や照明の電源を切った。(冷蔵庫や再起動の困難な機械等、特別な場合を除く)

緊急時の対応

問題16：緊急時（事件および事故発生時）の対応を決めておく事の意味について述べた文章です。正しいものに○印、誤っているものに×印を記入して下さい。 ⇒14.-(1)-③

1. () 緊急時に、迅速、円滑かつ適切に対応することは、お客様の被害を最小限にとどめる。
2. () 緊急時の適切な対応は、お客様の不安感を取り除く。
3. () 事故や事件の経験を踏まえ、社内体制を見直しても、事故の再発防止にはつながらない。
4. () 事故や事件の経験を踏まえ、社内体制を見直すことは、自社製品の安全・安心について更なる高みを自指すきっかけになる。
5. () 緊急時に対応するのは基本的に社員だが、パートやアルバイトは決められた仕事を確実に実行し、必要な情報提供や正確な記録を残す事で緊急時に貢献する事ができる。

問題17：記録表を記入する際の注意点について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入して下さい。 ⇒3.-(3)-①、14.-(1)-③,④

1. (×) 記録者が読めればよいので、記入するときの文字は適当でよい。
2. (×) 記録は記入する習慣が大切なので、多少の誤りは許される。
3. (○) 記録表は頻度を守って記入する。
4. (×) 記録表は記入された数値が重要なので、誰が記入したか分からなくても良い。
5. (×) 記録をする際に間違えたので、修正液を使って訂正した。
6. (×) ペンが見当たらなかったため、自分で持っていた鉛筆で記入した。

問題18：緊急時の行動に関して、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入して下さい。 ⇒3.-(1)-④、14.-(1)-③

1. (○) 緊急時の情報伝達は大切なので、報告・連絡・相談を徹底した。
2. (×) 自分の担当ラインの商品で回収事故が発生したが、私はパートなので原因を調べる時に意見を言わないことにした。
3. (○) 地震・停電・火事等の発生時はあわてずに行動し、機械や火元のスイッチを切ってから避難した。
4. (×) クレームの後に作業工程の変更があったが、自分が原因ではなかったため、変更後の作業方法ではなく、従来の方法で作業を行うことにした。

点数 _____

「協働の着眼点」を活用したパート・アルバイト向け衛生管理マニュアル

2009年11月30日 第1版
2010年 1月31日 第2版
2010年 3月19日 第3版
2010年 9月30日 第4版

編著 三菱化学メディエンス株式会社
食品安全コンサルティング部
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢4丁目25番11号
TEL 03-5994-2271 FAX 03-5994-2971